

安全データシート

改訂日2017年12月20日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:硝酸ストロンチウム
会社名	:チカモチ純薬株式会社
住所	:大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門	:営業部
電話番号	:06-6453-2062
FAX番号	:06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	:区分外
可燃性固体	:区分外
自己発熱性化学品	:区分外
自然発火性固体	:区分外
水反応可燃性/禁水性物質	:区分外
酸化性固体	:区分3

健康に対する有害性

急性毒性	:区分外
皮膚腐食性・刺激性	:区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2B

絵表示またはシンボル



注意喚起語	:警告
危険有害性情報	火災助長のおそれ:酸化性物質 皮膚刺激 眼刺激

注意書き

安全対策

- ・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・衣類、その他の可燃物から遠ざけること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

応急処置

- ・火災の場合には適切な消火方法をとること。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の手当、診断を受けること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合、医師の手当、診断を受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。

保管

- ・可燃物及び禁忌物質から離して保管すること。
- ・施錠して保管すること。

廃棄

- ・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 硝酸ストロンチウム
化学特性(示性式)	: $\text{Sr}(\text{NO}_3)_2$
CAS No	: 10042-76-9
EINECS No	: 233-131-9
含有量	: 97%以上
化審法	: 1-490
安衛法	: 公表

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

眼に入った場合

先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。

飲み込んだ場合

意識あるなら、口をすすぐ。意識なければ、何も与えない。医師に連絡する。

予想される急性症状及び遅発性症状	: データなし
最も重要な徴候及び症状	: データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: データなし
医師に対する特別な注意事項	: データなし

5. 火災時の措置

本品不燃物
消火剤

水スプレー、粉末消火薬剤(水素化炭酸塩を除く)、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤。

使ってはならない消火剤

炭酸ガス、水素化炭酸塩の粉末消火剤

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。

移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。

加熱されたり、火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。

特有の消火方法：データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具

防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。

作業場を換気する。

作業中は飲食、喫煙をしない。

可燃物との接触に注意する。

保管

密栓して換気のよい冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度(労働安全衛生法)：設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2011年度):設定されていない
ACGIH(2010年) :設定されていない

設備対策

局所排気装置、安全シャワー、洗眼器

保護具

防塵マスク。防毒マスク。送気マスク、空気呼吸器等。
不浸透性保護手袋。
安全ゴーグル。
不浸透性保護衣。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 白色の結晶または粉末
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: 570°C
沸点	: 645°C
引火点	: データなし
爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: 2.99 g/cm ³
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性と安定性	: 常温常圧で安定
避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など)	: データなし
混触危険物質	: 還元性物質、可燃性物質
危険有害な分解生成物	: 窒素化合物
危険な重合反応	: しない

11. 有害性情報

急性毒性 経口	マウスLD50値 = 5675 mg/kg (2,350 mg strontium /kg) (ATSDR (2004)) に基づき、区分外とした。
急性毒性 経皮	: データなし
急性毒性 吸入 ガス	: GHS定義における固体である。
急性毒性 吸入 蒸気	: データなし
急性毒性 粉塵ミスト	: データなし
皮膚腐食性及び刺激性	著しい刺激性 (marked skin irritation) がラットおよびモルモットで記録され (DFGOT vol.25 (2009))、ウサギでも局所適用により刺激あり (irritated the skin) との報告 (HSDB (2003)) があることから、区分2とした。

眼に対する重篤な損傷又は刺激性 ウサギを用いた試験で結膜に弱い刺激性 (weakly irritated)を示したとの記述 (HSDB (2003))、及び皮膚に対する刺激性は強いが粘膜には僅かであるとの記述 (HSDB (2003))に基づき、区分2Bとした。

呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データ不足
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: データ不足
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: データ不足
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水性環境急性有害性	: データなし
水性環境慢性有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号	: 1507
品名	: 硝酸ストロンチウム
国連分類	: 5.1(酸化性物質類)
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 非該当
緊急時応急措置指針番号	: 140

15. 適用法令

消防法	: 第2条危険物第1類 硝酸塩類第III種 酸化性固体(1,000 kg)
PRTR法	: 非該当
労働安全衛生法	: 安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号): 非該当
船舶安全法	: 危規則第3条危険物 酸化性物質類・酸化性物質
航空法	: 施行規則第194条危険物 酸化性物質
港則法	: 施行規則第12条危険物 酸化性物質

16. その他の情報

参考文献
危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)

改訂第3版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
15911の化学商品(化学工業日報社)
NITE GHS分類データ(ID=21A3587)
NITE GHS分類マニュアル(H22.3版)
製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE)
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の取扱い方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもありますが、いかなる保証をなすものでもありません。